

令和5年度 洛央小学校 学校経営方針

めざす学校像

◎子どもの命を守りきる。

- *心身共に**安心安全**で、自分らしく力を発揮していくことのできる学校
- *一人ひとりの子どもが大切にされ、心の居場所がある学校
- *子ども達が輝ける学校
 - ・学びたい、チャレンジしたいという意欲をもち、自ら学ぶ力を培う。

○やりがいのある学校

～教職員一人ひとりが大切にされる学校～

- *それぞれの**個性を大切に**、互いの**良さを認め合い**、共に高まりあえる学校
- *子ども達のために、頭と体と心に汗のかける学校
 - ・子どもたちの置かれている状況から出発し、子どもに届く確かな教育実践
- *新しい発想・企画が大切にされる学校

○保護者・地域との連携を推進する学校

- ・地域、家庭とともに子どもたちの命と心が守れる学校
- ・家庭力、地域力を生かし、人と人との絆を大切にする学校
- ・保護者、地域の**思いを謙虚な気持ちで受け止め**、自らの取組を見直すことのできる学校

めざす教師像

- ・一人ひとりの子どもに届く授業を実践する教師（**わかる授業**）
- ・子どもの気持ちや考えをつかみ、子どもの**心に寄り添い**、**よさを伸ばせる教師**
(子ども理解)
- ・家庭との連携をしっかりととり、保護者の思いを謙虚に受けとめ、子どもの力を伸ばすために何ができるかを**共に考えること**のできる教師
- ・自らの**人権感覚を磨き**、常に向上しようという気持ちをもつ教師
- ・**危機管理意識**を高め、様々なことに対して、**予測し行動**できる教師

めざす子ども像

*自分と人を大切に、チャレンジし続けるたくましい子

- ・自分と人を大切にする子ども
- ・目標に向かって、ねばり強く、あきらめずに努力し続ける子ども
- ・気づき、考え、判断し、行動する子ども
- ・社会のルールや学校のきまりを守って生活できる子ども

学校教育目標

一人ひとりを大切に、心ゆたかにたくましく生き抜いていく子を育てる

～気づき、考え、判断し、行動できる子の育成～

*一人ひとりを大切に

- 「自分を大切にする」心を育てる（自己肯定感・自尊感情）
自分の考え・思いをもち、自己決定していく力を育む。
- 「他者を大切にする」心を育てる
相手の気持ちを考えた言葉かけ・行動
いじめをさせない・許さない・見逃さない（一人一人違うことを前提）
- 高まりあえる学級集団・学年集団づくり（個性を大切に）

*心豊かに

- 結果より過程を大事に、努力した自分を認め、自信をもつ
- うまくいなくても、あきらめずに次への目標につなげる
- 何かあっても大丈夫・何とかなると考え、前に進んでいく
- 自分と人のいいところを見つけられる
- 自分とは違う人の考えや生き方を認めていける

*たくましく生き抜いていく子

- 自分の力・可能性を信じ、チャレンジする。
- 自分にできることを考え、行動する
 - ・グループの仲間のために・学級のために・学校みんなのために・地域のために・家族のために
 - ⇒言葉かけや行動を見逃さず評価することで、
次への意欲へつなげる
- 未知の状況にも対応できる子
 - ・どんな状況・環境であっても人のせいにならずに、その時に自分にできることは何なのかを落ち着いて考え、行動する
- 体を動かすことが楽しいと感じ、丈夫な体をつくる子

～つけたい資質・能力～

○自己決定力

（気づき、考え、判断し、行動する）

○多面的・多角的に物事をとらえる力

（いろいろな人がいる。自分とは違う考え等も認め合える）

〈具現化に向けて〉

◎自分を大切にする子

- ・自分の命を大切にできる子（安全面・生活面）
- ・自分の思いや考えをもち、伝えることができる子ども
- ・さまざまな活動に主体的に取り組むことができる子ども
- ・安全に対する意識を高く持ち続ける子
- ・誰に対しても気持ちよいあいさつができる子
- ・自己決定ができ、自分の言動を振り返り、次に活かすことのできる子

◎人を大切にする子

- ・最後まで話を聞くことができる子
 - ・相手の思い・考えを認める言動ができる子ども（そうだね・私は少し違って）
 - ・相手に共感できる子（相槌をうつ・拍手をおくる・お礼の言葉が言える）
 - ・相手の気持ちを考えて、自分はこうしたらいいのかを考えることができる子
 - ・相手に対して優しい行動がとることができる子
- （次に使う人のためにスリッパを揃えたり、使った物の後片付けができる）
（困っている人に優しい言葉をかけたり、一人でいる友達に「いっしょに遊ぼう」と優しく声をかけたりできる子）

◎自分にできることを考え、行動する子

- ・様々な場面で、気持ちよく過ごせるために自分には何ができるか、何をすべきかを考えて行動できる子
- ・係活動を通して学級のために貢献しているという自覚がもてる子
- ・委員会活動を通して高学年としての自覚や学校全体のために貢献しているという自覚がもてる子
- ・学校を美しくするために友だちと協力して、心を込めて掃除ができる子

◎高まりあえる学級集団・学年集団

- ・子ども達にとって、安心して生活できて、自分の居場所が明確にある学級
- ・自分のいいところを知り、友だちのいいところも見つけ、それぞれの個性をお互い認め合うことができる学級集団づくり
- ・学級の取組が他の学級に波及でき、学年のとして、また学校として高まり合える
（情報発信・情報の共有）

◎学力を高める

○子どもに届く授業の保障

～子どもが主体的で深い学びとなる授業づくり～

「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感する

＊主体的・対話的で深い学びとなるような発問の精選（ゆさぶりをかける発問も）

＊多角的・多面的に物事をとらえることのできる授業展開→考え議論する場の設定

＊学ぶことに対する興味や関心が高める手立て（導入の工夫）

＊構造的で思考の支えになる板書の工夫

＊めあての明確化と振り返り（振り返りを次時へとつなげる）

〈カリマネ 教科横断的な学習を意識して（内容のつながり）〉